

# 夢をもち 高め合う子

令和4年度 磐田市立磐田北小学校だより第8号 11月2日発行



## 学校運営協議会を開催しました

10月18日に、第2回学校運営協議会を開催しました。17名の委員さんに御参加いただき、授業参観をしたあとに、意見交換をしました。

委員の皆様からは、「1年生が落ち着いていて、成長を感じた」「昇降口の靴やトイレのスリッパがきちんと整頓されていて、気持ちよかった」「掲示されている子どもたちの絵から、躍動感やのびのび生活していることが伝わってきた」「タブレットとノートを、学習の目標や内容によって使い分けられていて、それぞれの良さを確認することができた。引き続き、丁寧に字を書く活動も大切にしてほしい」などの御意見・御感想をいただきました。今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。



## 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金について

厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」について案内がありました。新型コロナウイルス感染症の影響による小学校等（※）の臨時休業や、子どもが新型コロナウイルスに感染した（またはそのおそれがある）等の事情により、子どもの世話を保護者として行うことが必要となった場合に、

- ・労働者として雇用している保護者に対し、年次有給休暇とは別の有給の休暇を取得させた企業に対しては、小学校休業等対応助成金
- ・個人で業務委託契約等をしていた仕事ができなくなった保護者に対しては、小学校休業等対応支援金が国から支給されます。

対象となる期間や手続きの詳細などは、厚生労働省ホームページでご確認下さい。

（※）小学校のほか、義務教育学校の前期課程、特別支援学校、放課後児童クラブ、幼稚園、保育所、認定こども園なども対象となります

<厚生労働省ホームページ>

- ・新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/pageL07\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_00002.html)

- ・新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金（委託を受けて個人で仕事をする方向け）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_10231.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10231.html)

※申請窓口や必要書類等については、上記リンク先に掲載しています。

また、専用のコールセンター（0120-876-187、土日・祝日含む 9:00~21:00まで対応）を設けて、事業主や保護者の方等からのご相談を受け付けております。

- ・小学校休業等対応助成金に関する特別相談窓口について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_21202.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21202.html)

- ・厚生労働省公式 LINE チャットボット 友だち追加用リンク：<https://lin.ee/qZZIxWA>

【連絡先】 厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課

電話：03-5253-1111（内線7929、7866）

# 全国学力・学習状況調査（6年児童対象）の結果について

＜表記：○成果 ●課題 →今後の取り組み＞

## ＜国語＞

○互いの立場や意図を明確にしながらか自分の考えをまとめることができた。（話すこと・聞くこと）  
○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えたり、人物像や物語の全体像を具体的に想像したりすることができた。（読むこと）

●漢字や仮名の大きさや配列に注意して書くなど、言語文化に関する事項での正答率が低かった。

→言語に関わる知識量を増やせるよう、学習課題等を工夫していく。コミュニケーショントレーニングや読書、読み聞かせなど成果も見られたため、継続して対話活動や読書に力を入れる。

## ＜算数＞

○二つの数の最小公倍数や数量の変化、割合などの問いでは、既習事項を生かして解くことができた。

○1～6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ問いでは、目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができた。

●図形を構成する要素に着目し、図形の意味や性質、構成の仕方などを示されたプログラムから判断する問題の正答率が低かった。

→図形を構成する要素や性質、構成の仕方など、既習事項を整理する。問題文の意図を読み取り、図形をイメージする力も高められるよう重点的に指導していく。

## ＜理科＞

○昆虫の体のつくりを理解している。

○結果を分析して解釈し、自分の考えをもったり、その内容を記述したりできる力が発揮され、正答率が高かった。

●光の性質、道具の名前（メスシリンダー）や正しい扱い方について正答率が低く、知識として身に付いていないことがうかがえた。

→理科の授業において、実験や観察から得た結果や考察を、自分の考えとともに話し、自分の言葉でまとめることで、理科的な思考や知識技能を身に付けていく。

## ＜質問紙＞

- ・自分にはよいところがあると回答している児童が多く、自己肯定感の高まりを感じる。
- ・99%以上の児童が、「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答している。
- ・ICT機器を授業で使用している頻度が、国や県と比べ、割合が高い。
- ・「将来の夢や目標をもっているか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童の割合が高い。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合が高い。
- ・1日の学習時間が1～2時間が多く、2時間以上と答えた児童の割合は国や県と比べ低い。また、休日の学習時間も、国や県の学習時間よりやや少ない。



## 早退・遅刻方法について

早退、遅刻をする場合は、職員玄関、または教室での引き渡しをしますので、事務室に声を掛けてください。